

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート										No.	2-1
PDCA	主要事業名		人事管理事務		部課名		企画部人事課			担当	榊原
										内線	222
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 5 - 3 - 1 単位施策： 行政運営										
	全体事業期間： 令和 4 年度 ～ 4 年度 全体事業費等： 2,481 千円										
	会計		一般会計				歳出科目： 02.01.01.10.01				
	事業概要等		事業概要：								
			社会情勢の変化に伴う市民ニーズに対して、的確かつ柔軟に対応でき、わかりやすい組織づくりに努める。また、能力と実績が適正に評価され、職務に意欲的に取り組むことができる人事制度の確立に努めるとともに、心身ともに健康で個々の能力が十分に発揮できる環境整備を進める。								
			事業目的： 採用・昇任・異動等、適正に人事管理を行うことにより、市行政の円滑な運営を図る。								
			事業内容： 職員採用試験及び昇任試験の実施、特別職報酬等審議会の開催								
			問題点・課題等： 景気後退のなか、民間企業の採用縮小が見込まれるが、国・県の採用は堅調に推移していることから、採用は厳しい状況である。								
	予算額		主要事業とする理由								
	2,481 千円		行政運営をするうえで、適正な人事管理が必要なため。								
	財源内訳										
	市費		得られる成果								
	2,481 千円		能力や実績に基づく適材適所の人員配置を含めた人事管理を行い、行政運営能力が高まる。								
	国費										
	0 千円		目標値や目指すべき状態		令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位			
	県費		採用試験倍率		実績値	21.3	16.8	—	倍		
					目標値	16.0	16.0	16.0	倍		
			実績値								
			目標値								
その他				実績値							
				目標値							
0 千円											
D 実績値	決算額		得られた成果								
	3,506 千円		採用者数を増やしたため試験倍率が下がり、目標値を下回った。しかし、応募者数も増加しており、人材確保につながった。								
			成果指標					令和4年度	単位		
		採用試験倍率				実績値	8.3	倍			
						目標値	16.0	倍			
C 課題の整理	事業の評価・課題		D								
			採用活動は、大学等でのオンライン説明会への参加や、市独自の職員採用説明会を実施した。また、新たに作成したポスターやデジタルサイネージ、SNSによる広報活動に取り組んだ。一方、適正な人員配置及び職員の負担削減のため採用者数を増加した結果、採用倍率は目標値を下回った。各種任用においては、能力や実績に基づく適材適所の人員配置を行った。								
A 課題後の決方向性	今後の事業の方向性		改善推進								
			今後の景気回復状況や、民間企業及び国・県の採用募集人数増加により厳しい採用環境が見込まれる中、大学主催のオンライン説明会への参加に加え、本市職員のやりがいを発信するツール（SNS・動画等）を積極的に活用し、より効果的な採用広報活動を通じて、優秀な人材の確保を目指す。								
	観点別評価		必要性		有効性			効率性			
			①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい		⑦コスト削減	ない		
			②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある		余地			
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない		⑧受益者負担適正化余地	ない			

目標項目（予算計上時に作成）

予算見積書で活用

評価項目（決算時に作成）

主要施策の成果報告書で活用